



令和3年度

業務実績に関する報告書【概要版】

✓ 業務の実施状況の内訳

業務の全体的な実施状況は、83項目の年度計画の項目のうち、年度計画を上回って実施している（A評価）が4項目（4.8%）、年度計画どおりに実施している（B評価）が77項目（92.8%）、年度計画をやや遅れて実施している（C評価）が2項目（2.4%）という結果であった。

一部取組の遅れた項目があるものの、97%以上の項目がA評価又はB評価となっており、年度計画を十分に実施していると認められる。

◀ 評価概要 ▶

	項目数	A	B	C	D
◆ 教育研究等の質の向上に関する事項	41	2	37	2	0
◆ 業務運営の改善及び効率化に関する事項	6	0	6	0	0
◆ 財務内容の改善に関する事項	8	0	8	0	0
◆ 自己点検・評価及び情報公開に関する事項	5	0	5	0	0
◆ その他業務運営に関する事項	23	2	21	0	0
合計	83	4	77	2	0

✓ 特筆すべき成果（A評価）

学術団体論文誌などへの論文投稿数に関する計画（年度計画 No18）

・令和3年度から就任した新理事長及び新学長は、学術研究を非常に重要視しており、研究に積極的に取り組むよう常に教員に対して意識改革に努めていたことから、論文掲載に直結する投稿数について、令和2年度より約1割増加した（R2:202編⇒R3:228編）。 ※論文掲載数（R2:52編⇒R3:79編）

共同研究の充実に関する計画（年度計画 No22）

・りょうもうアライアンスにおいて企業からの依頼分析や技術相談の相互紹介、大型設備の共同利用等の情報共有を行った。また、連携協定締結機関とカーシェアリングサービス契約を新たに締結し、当該サービスを利用することで広瀬団地再生の共同研究の充実（広瀬団地と大学間のワンウェイサービス）を図ることができた。

災害対策に関する計画（年度計画 No77）

・防災手順や地震等の非常時の初動について、防災マニュアルを新たに作成し、学生や教職員に対して周知を行った。また、災害時の対応に係る重要事項についてカードサイズの「ポケット防災ガイド（防水加工、常時携帯用）」を予定を前倒しして作成し、学生の防災意識の向上を図ることとした。

学内ネットワークシステムに関する計画（年度計画 No79）

・学内ネットワークの更新を行い、令和3年11月から運用を開始した。
 ・最新規格のWi-Fi 6の導入による教室等への無線LANの配備（建屋内では電波がほぼ隙間なく網羅されており、フロアや棟を移動しても途切れることがない。）
 ・通信回線を100Mbpsから20Gbpsに増強（令和3年10月現在、県内大学では最速を誇るスピードである。）
 ・全てのPCルームの環境の統一化（各PCの内蔵ソフトウェア等を統一したことにより、管理上の業務効率向上だけでなく、利用者の利便性も向上した。）

✓ 取組の遅れた項目（C評価）

地域貢献、国際交流に関する計画（年度計画 No28、34）

・おとなの科学教室は、代替策を検討したものの、参加者に高齢者が多いため、オンラインでの開催は難しく、大学に実際に来るということが好評であったことから、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度も中止することとした。
 ・海外語学研修に参加する学生に対し、渡航費補助等の経済的支援を行う予定であったが、国による出国制限等によりやむを得ず未実施となった。

✓ 中期計画における数値目標の達成状況

項目	中期計画 No	目標値	R2 実績	R3 実績
学術団体論文誌等への論文の掲載数（累計）	1-(2)	420 編以上	131 編	210 編
地域貢献に関する事業への学生の参加数	1-(3)	200 人以上	35 人	30 人
市内・県内企業との共同研究実施件数		30 件以上	13 件	14 件
外部資金の金額（年額）	3	100,000 千円以上	85,723 千円	78,076 千円
認証評価（計画期間中）	4	認定	未受審	未受審